

# 生活習慣病患者・予備軍のシニア層向け 「温泉活用型スマートヘルスツーリズム」 の開発と伊豆エリアでの展開

---

代表機関：株式会社 竹屋旅館  
(静岡県静岡市)

共同実施機関：早稲田医療学園 人間総合科学大学  
(埼玉県さいたま市)

# 当社グループについて



竹屋旅館



## ホテル旅館運営

静岡市・沼津市戸田にて「地域の魅力発信」をコンセプト宿泊施設を運営。

## 健康食事業

健康食ノウハウと専門家の知識をもとに、日本医食促進協会にて「メディシェフ」育成を展開。

## 観光事業

観光地の魅力を伝える新しいツールとしてオトとストーリーで楽しませるIoT音声ガイドを開発。



地域未来牽引企業



経産省  
ジャパンヘルスケアビジネス  
コンテスト2016



# 共同実施機関について

当社は人間総合科学大学と2018年より連携。人間科学部ヘルスフードサイエンス学科や保健医療学科などヘルスケアサービスや健康食を専門とした学科を持ち、観光・食・ITを結び付けた研究や評価を行う



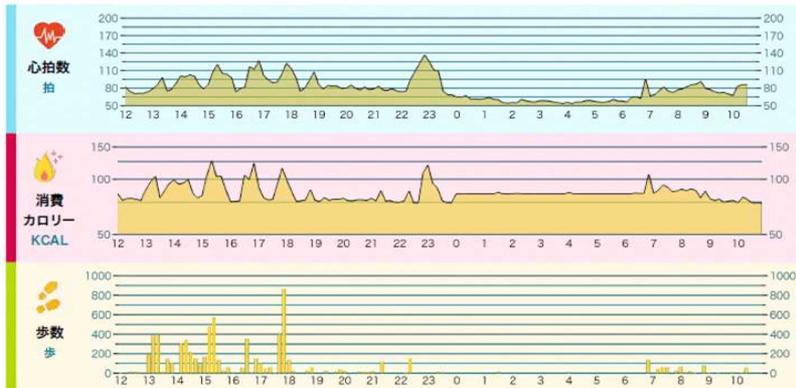
## 人間総合科学大学 ヘルスフードサイエンス学科長 時光一郎教授（医学博士）

静岡県立大学の客員教授も務め、静岡との関わりも深く、元花王にて入浴剤バブの商品開発に関わっており、温泉成分を活用したコンテンツ経験を多数もっている



# ビジネスモデルの企画

①温泉の効能を高めるコンテンツ開発 と ②IoTコンシェルジュシステムの開発  
を行い「温泉活用型スマートヘルスツーリズム」のビジネスモデルを企画する。



# 温泉の効能を高めるコンテンツ開発

- ・ 温泉の効能を高める食コンテンツの開発
- ・ 地域の食材を活用した健康食メニューの開発
- ・ 西伊豆地域の温泉効果を最大限に発揮するための体験提案
- ・ 温泉の効能を高めるためのアクティビティ開発
- ・ 取得データやアンケート結果を基にしたコンテンツの改善及び改良

温泉浴

×

健康食

×

フィットネス



効果を最大化させるための  
入浴方法の提案



スマートミール等の基準を  
守った健康食メニュー



温泉の効能を高めるアクティビティ  
(ヨガ・ウォーキング)



# IoTコンシェルジュシステムの開発

- ・ 旅後の日常に向けた、専門家によるヘルスケアサービス提案や、最適なツアー提案を行うことでリピート率を向上。
- ・ 健康デバイスメーカーのトライアルの場として使っていただくことで新しいデバイス体験も。

<ヘルスツーリズム>

温泉の効能 +  
食・運動・休息

<フォローアップ>

ヘルスケアサービス提案  
+ 次回のツアー情報

ヘルス  
ツーリズム

...

取得データの活用

情報発信を行うことで利用者と繋がり続ける +  
新たなコンテンツ開発に活用

# トライアルサービス（実証）の実施

区 分	内 容
対象者	旅行者及び地域住民のうち、生活習慣病患者及びその予備軍に該当するシニア層
日 数	日帰り又は1泊2日
モニター数	50名程度
場 所	温泉旅館 AWA NishiIzu（沼津市戸田1480-1）
測定項目	血圧、血糖値、体重、睡眠の質、ストレス（交感神経及び副交感神経）、アンケート・ヒアリング調査
プログラムの内容	①ヘルスチェック（体験前） ②体験（以下のいずれかのサービスを提供） A 温泉浴 B 温泉浴×フィットネス（ヨガ、ウォーキング等） C 温泉浴×健康食コース D 温泉浴×フィットネス×健康食コース ③ヘルスチェック（終了後）

# AWA NishiIzu (沼津市戸田)



# 成果の検証および報告

---

## <トライアル実証についての分析項目>

- ① ビジネスモデルとしての有用性に係る分析
  - ・ 各コンテンツの満足度調査
  - ・ 体験価値としての妥当性調査
  - ・ 集団や属性によるアプローチの効果の有無
  - ・ 他の地域や施設における横展開に向けたビジネスモデルの分析
  
- ② エビデンスの取得に係る分析
  - ・ 各種サービスの利用前後における取得データの変化（血圧、血糖値、体重、睡眠の質、ストレス）
  - ・ アンケートやヒアリング調査による定性分析

# ヘルスチェック・エビデンス



## スマートウォッチ

- ・測定時期：常時
- ・測定項目：心拍・睡眠の質



## 唾液アミラーゼモニター

- ・測定時期：各サービスの体験前後
- ・測定項目：ストレス



## 血糖値測定器

- ・測定時期：各サービスの体験前後
- ・測定項目：血糖値



## 血圧計

- ・測定時期：各サービスの体験前後
- ・測定項目：血圧

# エビデンス



## 人間総合科学大学

コンテンツの監修、トライアル実証における測定内容（アンケート等）の監修、  
トライアル実証結果について学術的な観点から分析、アドバイス等

### <エビデンスの取得人数>

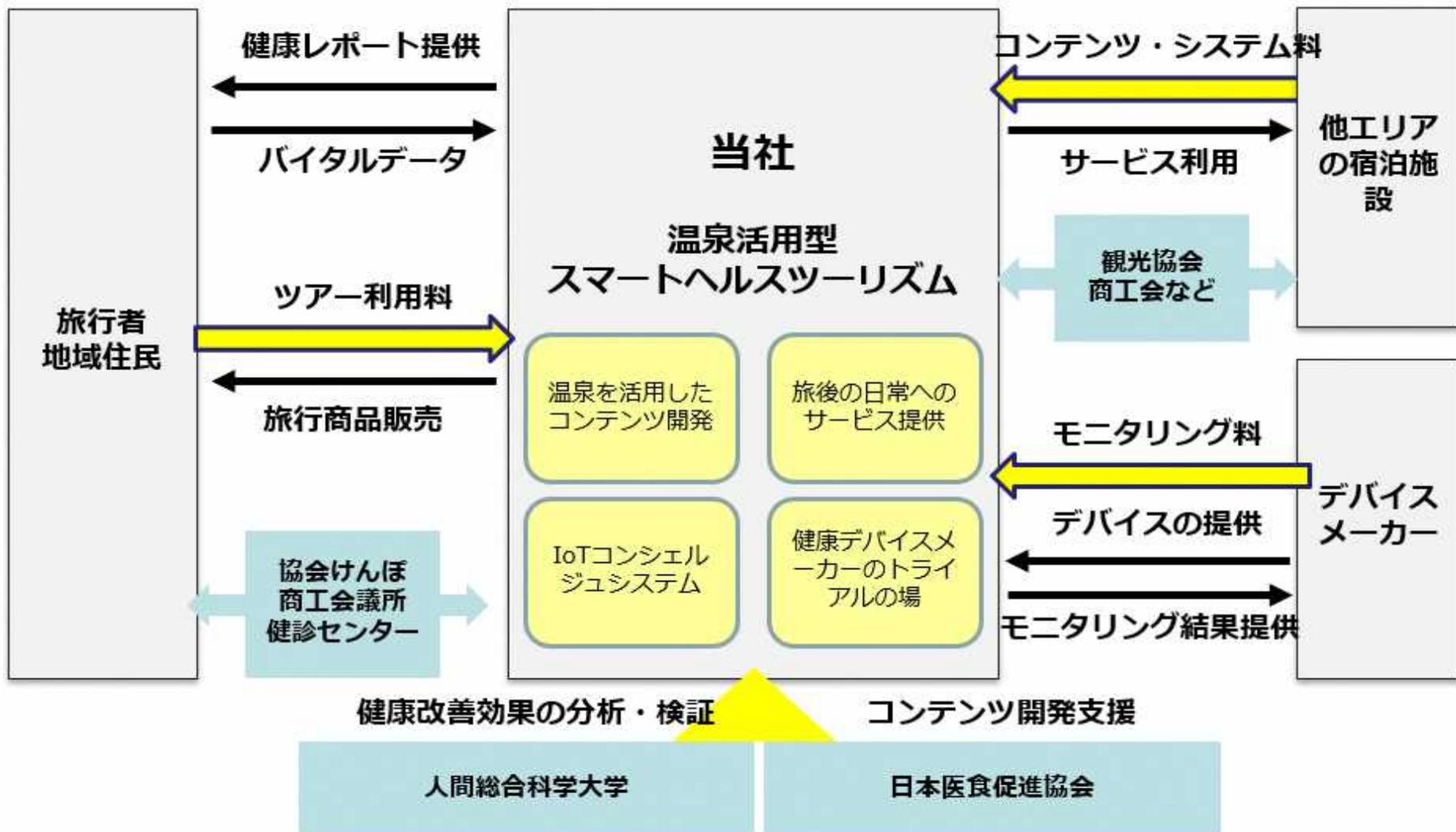
- ・過去に行われた温泉のストレス低減効果についての研究事例等より、実際の温泉ツアーを伴う効果検証だと数十名（モデル試験だと十名程度）にて示唆が認められていることから、N数は50程度が妥当と判断。

### <実証事業の成果やエビデンスの公表について>

- ・当社のウェブサイト等での公表に加え、有意な成果が認められた場合は研究機関（人間総合科学大学）より論文等を通じた発表を検討。



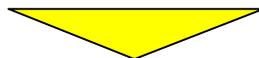
# ビジネスモデル



# 事業化のステップ

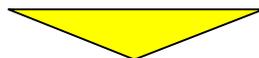
## 1年目：温泉活用型スマートヘルスツーリズムの基盤づくり

- 温泉活用コンテンツ開発、IoTコンシェルジュシステムの開発
  - 温泉＋食・運動のツアー組成
- 当社運営施設にてトライアル実証のうえ、健康改善効果等の分析・検証を行う



## 2年目：横展開の実現性検証

- 1年目の検証を踏まえたコンテンツ・システム改善
  - 旅後の日常にも介入するサービス開発
- 対象エリアの他施設にてトライアル実証のうえ、健康改善・サービスの有用性・施設側の満足度調査を行う



## 3年目以降：伊豆エリアをはじめ温泉地域への展開

- サービス提供エリアの幅広い施設への導入
- 蓄積したデータを解析し、年齢・健康状態など旅行者の属性に適したツアー提案が可能に
  - 将来的には解析データを生かしたツアーコンテンツの開発も



静岡県を「温泉×ヘルスツーリズム」で  
ウェルネスツーリズム先進県に！